

第47回

奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会

日 時：平成24年6月27日（水）

午後6：00～

場 所：奈良市役所北棟6階第22会議室

次 第

開 会

1. 議 事

- (1) 第46回策定委員会議事録概要版の確認
- (2) 奈良市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて（報告）
- (3) 施設整備のあり方について
- (4) その他

閉 会

(事前配布資料一覧)

資料 9 3 第 4 6 回策定委員会開催概要及び議事録概要版 (案)

参考資料 奈良市一般廃棄物処理基本計画

大気汚染データ比較

排ガスデータ比較

第47回委員会	
開催概要	H24.6.27

第47回策定委員会開催概要及び議事録概要版

件名	第47回 奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会	
日時	平成24年 6月27日（水） 18：00～19：50	
場所	市庁舎北棟6階 第22会議室	
出席者	委員	片山信行、木内喜久子、日下穰、國領弘治、阪本昌彦、佐藤真理、高杉美根子、田中幹夫、田中啓義、元島満義、森住明弘、安田美紗子、山口清和、山口裕司、吉岡正志、渡邊信久 (今井範子、古海忍、三浦教次、吉田隆一委員は欠席)
	事務局	吉住部長、阪口参事、高橋課長、村田課長、山本工場長、美馬主幹、井谷主任、田中主務、岸谷
	コンサル	堀 善雄
開催形態	公開	
記録作成者	奈良市施設課	
配布資料	資料93 第46回策定委員会開催概要及び議事録概要版（案）	
会議内容		
<p>開 会</p> <p>部長挨拶</p> <p>1. 議 事</p> <p>(1)第46回策定委員会議事録概要版の確認</p> <p>(2)奈良市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて（報告）</p> <p>(3)施設整備のあり方について</p> <p>(4)その他</p> <p>閉 会</p>		

議 事 要 約 内 容	
事務局(美馬)	<ul style="list-style-type: none"> ● 定刻になりましたので始めさせていただきます。 <p>本日は大変お忙しい中、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。今回は奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会の第47回目の会合です。よろしくお願いいたします。</p> <p>開会に先立ちまして吉住環境部長よりごあいさつを申し上げます。</p>
吉住部長	[部長挨拶]
事務局(美馬)	<ul style="list-style-type: none"> ● 本日の出席状況です。委員総数20名のうち、現在のところ16名の方にご出席いただき、本日の委員会は成立しておりますことを、ご報告します。 <p>それでは、早速議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては渡邊委員長にお願いいたします。</p>
渡邊委員長	1. 議 事
事務局(美馬)	<ul style="list-style-type: none"> ● 皆さん、こんにちは。まず、資料確認からお願いします。 <p>[資料確認]</p>
渡邊委員長	(1)議事録概要版の確認
事務局(美馬)	<ul style="list-style-type: none"> ● まず議事録概要版。これは古い話で申し訳ないですが、前回5月9日に会議ができなかったもので、少し時間が経っていますが、いかがでしょうか、何か事務局に訂正事項とか入っていますか？
事務局(美馬)	<ul style="list-style-type: none"> ● 今のところ訂正等のご連絡はございません。
渡邊委員長	(2) 奈良市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて（報告）
事務局(高橋)	<ul style="list-style-type: none"> ● 皆さんよろしいでしょうか。まず、一般廃棄物処理基本計画、見直しされたということで、我々にも強く影響しますので、ご説明いただきたいと思います。 <p>[一般廃棄物処理基本計画の説明]</p>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● ありがとうございます。ごみ量が減ってきていまして、量に関することと処理に関するところが、私どもに重要なところ。量が7頁目にありますように、平成10年ではごみ搬入量が14万トンあったものが、直近で10万7千トン、9万1千トンまでは減らせるだろうということですね。さらに処理に関するところでもリサイクルできないものについては既存施設で適正処理、これ15ページ目にあります。環境清美工場および最終処分場において安定的で環境に配慮した、これですね。運転管理状況を公表しますということです。 <p>これは大枠の話ですが、今ここでご注意いただくことはありますでしょうか。</p>
A委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 基準年が平成10年ということですが、前回の見直しするとき、24年の目標値は、その当時の計画が、ノルマは果たして、消化してしまっているというのがあったわけ。今回は32年というのは、さらに10年先ですが、中身が具体的に何もの

	<p>いんです。例えば事業系のリサイクルや減量化を、どういう施策で具体的に考えておられるのか。前回、市の基本計画のときに、奈良市の人口が1万とか減るといふことで、ごみがあまりにも極端に減ってしまい、処理場の規模が縮小されるということで、議会で相当厳しい意見があり、1年間放置された経緯を聞いています。その割に簡単に中身は書かれています、これでリサイクル、減量化をどういう形で具体的に進められるのかが見えてこないんじゃないでしょうか。前回の中身から見ると、3分の1くらいのボリュームです。しかも数字は全然使っていない。結論だけで3分の1にしますよと書かれています、その具体性がよくわからないです。具体的な数字の詰めがあるのかどうか教えていただきたいです。</p>
<p>事務局(高橋)</p>	<p>● ご指摘いただきましたとおり、ごみ再生資源の搬入量は年々減少している傾向です。前計画における最終年度である平成27年度の設定目標につきましては、既に21年に達成した状況です。これらのことから循環型社会の形成をより一層推進するために、もったいないの心を大切に皆で、循環型都市奈良を目指すということの基本理念において、今回市民の生活に密着した施策を今後計っていきたいと考え、策定したところです。具体的にこの数値の目標等につきましては、8ページの設定目標数値の考え方ということで、リンクさせていただいています。このような取り組みをやっていきたいというようなところです。</p>
<p>渡邊委員長</p>	<p>● ごみの減量をしたから、ここまで減ります、そこまでできるものではないですけれども、進んでいるということで、今後もこの方向で、更に進めて行けたらいいと思っております。</p>
<p>田中副委員長</p>	<p>● 策定委員会でこのことを報告していただいたので、20ページを見ていただいて、A委員から指摘あったんですが、具体的施策ということが、実はあげておられることはあげておられるんです。ただ、具体的な話は、まだ聞けないと思うんですが、この策定委員会で、これを報告いただいたということは、新しいクリーンセンターをどうするかということと、連携をもってやっていただきたい。一つは、家庭ごみに対しては有料化を検討するというをここでうたっておられる。事業系ごみについては、かねてから処理手数料が安すぎるわけです。これを見直していく。家庭系ごみも事業系ごみも、この2つの施策によって、必ず減量の方向でいけると思うんです。このへんは、ごみの減量が3分の1と、さきほどおっしゃいましたが、3分の1の計画の中には、このような具体的な2つの施策を入れずにね、3分の1と言っておられるようなので、本当に具体化していただいて、その3分の1よりももっと施設の規模を減らせるようにして、今度のクリーンセンターでは、中核の焼却部分が非常に小さく、緑化され、かつ教育施設もあるような、クリーンセンターをつくるために、是非、この施策等は相伴ってしなければならないと思うんです。連携をとってほしいと思います。</p> <p>施策の内容のところ、ごみ減量リサイクル推進のための学習の充実だとか、子どもたちの学習会の実施だとか、子どもたちを育成していくとなるわけです。今、我々が2つの箇所を選んでいますが、東部地域に、学習する子どもたちが奈</p>

<p>渡邊委員長 事務局(井谷) 渡邊委員長</p>	<p>良市全域から、集まって来れるような、それによって賑やかになるような、学習施設を、提案・計画してほしい。こういった施策というのは、ただ書いているのではなくて、今度新たにクリーンセンターを作って、今の候補地に建てていくこととのつながりを、必ず持ってほしいと思います。</p> <p>(3)施設整備のあり方について</p> <p>● 排ガスの関係のことを、少し説明をしていただきたいと思っています。</p> <p>[大気汚染データ等の比較説明]</p> <p>● 皆様からいろいろとご質問等あると思いますが。大気汚染のデータと排ガスのデータとを並べてお話されたので、ちょっとわかりにくかったと思うんですが、最初に事務局からは、大気汚染データで比較しますと、現在クリーンセンターのあるところと周辺の状況等、なんら違いはないですと述べられております。それから排ガスデータの比較というのでは、最新型は、現在の施設よりも更に排ガスの処理性能の高いので、新規に建設しますと、更に排ガス質はよくなりますと、いう話でした。現行の施設は、このようなものだと、最後に説明がありました。</p>
<p>森住委員</p>	<p>● データの発表の仕方ですが、このデータ見るだけでは、高い所、大和高田市とか済美小学校が、なぜ高いのかが分かりかねます。もう一つは、焼却工場との距離の関係を、他所についても書いたほうが分かりやすいと思います。</p> <p>第1点は、原因は色々あるんです。ダイオキシン濃度。確定は中々しにくいですが、こういうことが考えられます、くらいは書けるわけです。一番多いのは、ダイオキシンは自動車の排ガスからも出ているわけです。それは非常に地上近くで出しますから、1台1台の濃度はごく少ないですが、車の台数が多いから、地面付近で高くなるんです。過去ダイオキシンの問題になっており、専門の文献もありますから。その辺を調べられて、焼却工場の寄与率というんですか、わからない程度であるということが、見てわかるような説明の仕方をしないと、こういうデータだけ、こういう図だけ示しましても、全く焼却工場との関連がわからないので、疑いをもって見る方にはよくわかりません。その辺を踏まえて、一つ一つについて、もう少し親切な説明を是非していただきたいと思っています。客観的に焼却工場の影響がどの程度かということが、住民の方によくわかると思いますので、例えば、住民の中で浄水場との関係を心配される方もおります。あの方たちに納得してもらうためには、かなり丁寧な説明をしたデータを、市の責任で調べられて、それで文章化する。そういうことでやられたらいいと思います。</p> <p>下の4つの項目も同じです。焼却工場からどの程度出ているのか。煙突出口の排出量との関係をやはりわかるように書かないと、これだけじゃ中々分かり難いと思います。</p>
<p>田中副委員長</p>	<p>● 森住先生がおっしゃったのは、公害施設でないということを、くわしく説明してくれという趣旨だったと思うんです。事務局のほうから説明いただいたのは、一つは公害施設ではないんだということ、もう一つは、嫌悪施設から脱却すると</p>

	<p>いう決意だと思うんです。公害施設ではないということは、さらにくわしく説明できればいいということですが、もう一つ、嫌悪施設から脱却するという決意の部分というのは、要するにこの後半部分で説明いただいた、他都市の外観の部分とか、あるいは還元施設の部分だと思うんです。そろそろ、他都市を紹介することにとどまらず、奈良で何を造るのかという提案をされたらいかがかと思うんです。</p> <p>例えば、7の施設の外觀図、他都市の事例で挙げています。京都はこうだ、樫原はこうだと言っていますが、例えば、京都の歴史的景観は奈良と一緒にですから、京都のこんな屋根のものを作るんですという計画を言われるべきだと思うし、8番の還元施設ですが、温泉的なもの、あるいは植物園でもいいんですが、こんなもの作るんだ。具体的に奈良で何をやって何を提案するかを、言うべき時期じゃないかなと思います。併せて先ほど出ました、毎週のように子どもたちが、ごみ教育で訪れるような施設を作るんですと。他都市の例を報告するのではなく、奈良が何を造るのかということをお願いしたい。</p>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 今のご意見は、どういったものを作るかというのを前に進めるというお話ですが、それは今日はアセスメントの手続きに入る前の事前調査の話とリンクしますので、またしたいと思います。
A委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 排気ガス等については平成23年度の実績を、6月17日に、奈良市から説明いただきました。これは毎年、地元地域に対して公表していただくという形で進めていただいております。ただ、データは中々分析しづらいところがあるんですが、それについてもやはり、奈良の施設もすでに30年経過しております。これはもう正に先ほどカラー写真で新しい施設の写真を見ましたが、こういう形のものが整備されれば、この辺の問題は相当クリアできるという認識を持っています。 <p>それからもう一点、奈良市は4号炉の年間の定期検査に入る形で、入札を公募されています。恐らく6月26日が入札といいますか、企業の決定という形になっていると思います。ただ、奈良の場合、焼却施設自体が30年前の施設です。部品がありません。チェックして悪ければ、鉄工所に頼んで作るという形です。ごみ処理場の、あらゆる施設について点検・修理をやろうとすれば、大変な作業になるわけです。老朽化が進んでいます。この辺も充分認識し、環境調査と同時に、できるだけ早い時期に更新しないと大変なことになるということは、ご認識いただきたいと思います。</p>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境汚染データで明らかに左京地区が、周りの周辺の地域よりも汚染されているというデータが出ることは無いと思います。排出基準決められていますので、安全に近づけて計算されておりますので、一般環境の汚染が目に見えることは絶対ないと思います。にも関わらず排ガスデータだけでいいますと、例えば窒素酸化物150ぐらいの数値に対して周辺では10~20という数値ですので煙突10本分ぐらい。あるいは塩化水素でも、それよりも多いぐらいの量を出しております、今、A委員がおっしゃいましたように、老朽化という言葉だけでは片付けられな

<p>森住委員</p>	<p>い、排ガス処理の原理から、最新施設にはどうしても叶わない状態になっています。それが害かどうかは別としまして、ごみ処理に関する仕事をしている身からしますと、我慢ならないです。この数字は。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この建設計画立てる時に、最近のクリーンセンターのいいところばかり書いていますが、現状と比べて、どう改善されるのかが無いと、きれいごとばかり言っていると捉えられます。特に今の焼却工場の問題点は、煙突出口での排出濃度が、昔の設計ですから、古いわけです。緩くても、周辺環境に影響はないですが、現実にも他所と比べますと、これだけ濃度差がありますから、なぜ、これだけ変わったのかということも合わせて書いておかないと、奈良市はサボっていると、捉えられてしまいます。現状はどうなんだということも合わせて、是非書いてもらいたい。そうすれば具体的に、今の焼却工場の抱えてる問題点が浮き彫りになるでしょう。それ書かないと、本当に綺麗ごとと捉えられます。特に問題点は臭気です。臭気対策は難しく、自動扉、消臭剤、出入り口のエアーカーテン、この3つを現在の工場ですべてやってないなら、やはり古いと思います。現状と将来との差を是非書いたほうが良いと思います。 <p>工場の現場を財政にいいましても中々金を出してくれない現実があるんです。そんなことでも書かれたらいいわけですよ。現状を市民の方に知っていただくということも同時にしないと、外からみると、サボっているという印象しか与えません。</p>
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 排ガスの排気基準はクリアしており、環境基準も問題はありませんということでは確かに事実ですが、そこで終わると、何か開き直られているような気がするんです。それが市民から見て、あまり印象よくないので、排ガスの排出の状況については周辺自治体の状況から見て、日本の技術レベルの状況から見て、もっと改善できるので、それをしたいと。それをしないと市民の目もありますよという形で進めていただけたらと思っています。こういう委員会に、いくらそれを言ってもですね、財政当局は、そういう世界ですが、そういうふうな意見で、こちらからしたいと思っています。
<p>渡邊委員長</p>	<p>(4)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 5月9日にできなかった、中断した理由の一つに、タウンミーティングをこれから行うということで、その様子について、ご報告していただくことが、次の皮切りになるだろうということで、中止したわけです。そのタウンミーティングの報告について、事務局にお話をお願いしたいかと思っています。
<p>事務局(美馬)</p>	<p>[タウンミーティング報告概要説明]</p> <p>東部地区からは、国道369号線の4車線化をはじめとする道路問題、自然環境や世界遺産の保護、健康被害等の質問がでました。</p> <p>市長は、道路の4車線化は困難ですが、道路の改良に関しては、できる限り、要望に応えたいと回答。健康被害については、現工場も、公害と認定されるには</p>

	<p>至っていないが、新しい施設では、最高技術のものを導入し、120%安心してもらえるような状況を確保したいと回答しました。</p> <p>北部地区からは、工場移転等に関する市長の考えについて、質問がありました。</p> <p>市長からは、環境清美工場は、老朽化しており、一刻も早く新しい施設に変えることが、全ての市民にとって必要なことだと考えています。これからも、東部地区にはご理解をいただけるよう、間をあげずに次々に提案していきたいとの回答でした。</p>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 東部地区、北部地区でタウンミーティングが行われ、ここで出た質問と市長からの回答が朗読されました。ご発言いただきたいと思います。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 市長からの回答の中で、4車線化の論理が、東部地区と左京地区ではかなり中身が違います。左京地区のほうがかなり具体的に言うておられます。一つは費用対効果の点から国の補助金が見込めないと言うておられます。東部ではそういう論理は使っておられません。これだったら普通の市民が、奈良市はさぼっていると、捉えることが多分多いと思います。そういう意味で、部会でもやりましたが、4車線化をするためには、4つの大きなハードルを越える必要がありますが、ハードルの第1段階で越えられなかったわけです。そのあたりも丁寧に説明されて、今の国の制度、市の制度の下では、費用対効果は、非常に大事な論点ですから、それから考えるのが市の責任ですと。その結果、国や県に要求しても、撥ね付けられるのが必至ですと具体的に言わないと、抽象的な形で、言われたら、ぼろくそに必ず言われます。もう一点は150億円の話です。それも、奈良市の道路予算はいくらで、そのようなことはいえないですが、例えば20年間で150億と考えたらどうだろうかとか、あるいは、他から考えて、その地域に使える道路の予算は1年間で10億円くらいじゃないかとか、そういうのがあるともっとわかりやすいだろうと。
吉住部長	<ul style="list-style-type: none"> ● 補足説明ですが、タウンミーティングは、時間を1時間半程度とらせていただき、市長の方から前半45分、奈良市の財政も含めた、市の将来的な考え方を市長の言葉で説明いただく。その後45分間については、確かにタウンミーティング参加された方からご意見を伺うというものです。例えばクリーンセンターの説明会でしたら、森住先生がおっしゃっていただいた内容の説明でいけますが、時間の関係で、福祉の話、道路整備の話、河川整備の話とか、いろんな問題がありますので、あまりくわしい説明する時間がなかったなかで、これだけ回答をいただいたのは、他の回答に比べては丁寧に説明いただいたのかなと思っています。
吉岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ● タウンミーティングは時間的な制約もあって、よくわかりますが、市長もあと一年で任期終わります。優先順位、色々施策もあるでしょうが、任期中にどうしようと思っておられるのか、策定委員会に来てもらって所信表明してもらってもいいと思います。役所というところは、部と課が一つの企業というか、集合体にしかすぎず、縦割りなんです。こういう大きなプロジェクトをやっていくとすれば、市を挙げてやらなきゃいけないです。だからプロジェクトチーム作って、

<p>渡邊委員長 元島委員</p>	<p>一丸となって、進めようという体制が組めないものか、聞きたいんですけど。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事務局からすぐ答えありますか ● これだけタウンミーティングで講評・総論なされたので、建設設備の移転計画委員会の仮称折衝委員会を、当該地区と持つ方向へもって行って、そのときに、今、タウンミーティングで総論したことの補足説明の担当を、副市長なりにやってもらうことで、先頭切っていないと前へ進まないと思います。今度はこっちから攻めていかないと。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 元島委員からお話がありましたが、タウンミーティングで、市長が4車線化の難しさなども、言明されたわけですが、どう進めたらいいかという話で、まず対話のできる形にしないと、進まないなというのは、前からそうで、最初は2カ所の候補地を市役所側にお返しした理由というのが、対話の窓口になってくれたらということでしたが、そこで止まってしまいましたので、次の手として、私の方から、本アセスメントの手続きとは言えないですが、事前調査的な対話の場を持ちたいということで、今日作ってきたのが、お配りした資料です。これは私からの希望として、環境アセスメント事前調査を、市が主体的にやっていただきたいとのお願いと、文章に残る形でお話をしたいとの趣旨をまとめたものです。これは私自身の一部勘違いかもしれないし、一部主張でもあるんですが、そういったところを皆様にも見ていただきながら、この会の意義自体も考えながら、先へ進めたいと思っています。 <p>[申入書の内容説明]</p> <p>いくつか修正を市役所側からいただいております。趣旨は公的なアセスメントという位置づけにできるかどうかかわからないが、対話のできる窓口として、業者委託という形ではなく、市役所職員が調査に参加するという形がいいのではないかと、私たちもそこに参加したいという趣旨です。少し気をつけなくてはいいんですが、策定委員会がアセスメントを強くここでやりますと書くと、委員会の名称、設置の趣旨から、見直さなければならないので、簡単に協力しますと断言するとまずいと思いましたので、この状態を出していただきたいと思っています。</p> <p>その前の市役所職員が主体的に実施するのが望ましくというところですが、これも、公務員というのは事務分掌というのがあり、何々に関することをするというを決められており、アセスメントに関することとということをする職員がない可能性があり、市役所職員が実際してくださいと言ったとしても、誰もいませんと返されても困りますので、望ましいと書いた次第です。このあたり、文面の細かい枝葉の問題のように感じるかもしれませんが、今日、決めてしまっていて、すぐに市長にお願いして。なるべくアセスメントという言葉は、少し控えて、対話型の事前調査ができればと考えています。</p> <p>そういうことを踏まえて、公開の場で文章を推敲するのは、かっこいいわけはありませんが、いくつか争点の部分もありますので、皆様からご発言をいただきたいと思っています。</p>

森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 上から4行目の、公害の心配より、こっちの方の話題があがったものと推察します。ではなく、タウンミーティングのことと、鼓阪地区の対話をされた議事録が、この委員会に出され、それに基づいて判断していますから、推察という言葉をやめ、そういう資料を見せていただきましたという趣旨の表現にした方がいいと思います。もう1点は、アセスメントという言葉を使わないで、どういう事前調査をすればいいのか。その仕方によって、市民の理解は変わりますから、どういう調査手法をとれば市民の理解が得られやすいか、そのための文献調査や実態調査をする必要があると思います。本年度は、この委員会の中に道路部会のように部会を作られて、そこでその議論を充分やる。必要であれば、事前調査についてくわしい行政の職員にも部会に入ってください、充分議論をして、今年度末にはその報告書いただいて、それに従って来年度は事前調査やっていく。そういうイメージで描いて、ここの文章の3行を変えられたらいいんじゃないかと思います。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 今のご指摘は、最初に推察しましたということは、すでに書面で見ているんだから、推察じゃなく、知っているだろうということで、伺っておりますにしたらいいと思います。それから終わりの方ですが、野外での調査作業というのは、これは世間話という言葉で、つなげるために少し限定して書いてしまいました。これ、限定する必要もありませんし、ポツンと言ってもなんですので、やはり具体的な調査の打ち合わせをしながらの世間話という形で落ち着きます。もう少し広くなると思いますが。他、いかがでしょうか。
田中副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 文章自体に異論は無いです。何の事前調査をするのかということになると思いますが、ここに別に書く必要は全くないですが、今後のこととして、自然環境の調査あるいは、公害が無いと言った意味で、有るか無いかという調査、いわゆるマイナスが、ないことの調査だけでなく、プラス的な調査。この場にこの地域であれば、こんな施設だったら、外形だったらふさわしい。こんな施設を併設すればふさわしい。こんな施設があれば地域振興策になるなどの社会調査みたいなのをやったらいいんじゃないかと。例えばこれ、今思いつきですが、温水施設、植物園、昆虫館でもなんでもいいです、子どもを呼ぶような、イメージやコンセプトは、なかなか奈良市だけで作れるのは非常に難しいと思うんです。どんなイメージを作るということを、例えば奈良市が公表して、それに合ったコンセプトや施設を公募してみるとか、いろんな技術者とか、いろんなアイデアのある人は民間でもたくさんいらっしゃると思うので、一つの方向性、例えば皆に親しまれる、地域の振興になる、それで教育になる、環境教育になる、自然施設との融和を求められる、そういうふうなコンセプトの中で、どんな施設を求めるのがいいのかを民間から、アイデアを求めていくというようなことも、事前調査の中に、そういった積極的なものとして取り入れられたらいいんじゃないかなと思いました。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● マイナスじゃなく、プラスの方という意味ですね。
田中(幹)委員	<ul style="list-style-type: none"> ● このような申入れをするに至った変化、そしてこの委員会のスタンスを各委員

渡邊委員長	<p>が認識する必要があると思います。どこまで長引くかわからない。この委員会としても、何かしなければならぬと思って。僕は調停の奈良市の代理人でした。その中に3年以内にアセスメントを含めてやれとなっているんです。だからお願いじゃないですよ、しなければならぬですよ、奈良市は。調停条項の中に入っていることです。アセスメントはお願いするんじゃないで、時期をちゃんとしてくれっていうことです。</p>
事務局(村田)	<p>● 私が理解する日本の文化ではお願いと書くと思って書いたんです。このイライラ感が少しでも伝わったらいいと。</p> <p>対話型の事前調査に入りましょうということ。まだこれは漠然としています。具体的に何するかとかいうのは、事務局側としては、どのようなことを考えているのか。今日の話を出すにあたり、多分あると思うので、ご発言をいただきたい。</p>
渡邊委員長	<p>● 委員長がおっしゃられましたアセスメント、事前調査という表現になろうかと思うんですが、24年度で、予算は、ある程度を確保しています。主に内容としましては、2カ所の候補地で、事業の進捗に大きくリスクとなるようなもの、例えば奈良県のレッドデータブックに載っているような生物、クマタカなど、そこに居ることで、候補地として不適格となるような、生物がいないとか、重要な自然植物の群生の有る無しを事前に調査させていただきたいと考えています。</p>
事務局(村田)	<p>● 今、お話があったのは生物調査ですかね、野生生物調査、それは専門の人がいかなないとわからないですか。</p>
渡邊委員長	<p>● 植物の名前も知りませんので、専門家の方々に入っていたかかないと。それと少人数でできるものではないと思いますので、ある程度知識のある方に入っていたかかないと。また、植物は特に、1年中生えてるわけではありません。ある程度季節感も必要になってくると思います。また、先ほどいいました、タカに関しても営巣しているのかどうかは、営巣の時期じゃないとわかりませんので、1年間ぐらいの調査になると思っています。</p>
事務局(村田)	<p>● 地元のいわゆる、タカの話、植物も出ている。人間の方は、なるべく対話型であってほしい。でない、動けないと私は思っていますが、それはどういうふうに説明…、少し考えておられると思いますが、どうでしょう。</p>
渡邊委員長	<p>● 東部では、まだお話させてもらっていませんので、特にどうこうはないんですが、飯守町や鼓阪地区でお話させてもらった時に、こういうところにこういうものが在るというのはお聞きしていますので、地元の方の意見を聞きながら調査することは可能だと思っています。</p>
事務局(村田)	<p>● 地元のことというのは、そこに長くいる人でないとわからないことがたくさんありますので、こういったところを少しでも協力して話ができたらいいと思います。事前調査という言葉は一体何かということはあるみたいですが、あくまで現在、新クリーンセンターに同意しているわけではないことを承知しておりますというのは、これは是非入れなければならぬと、私は強く思っておりますので、あまりそんな無茶苦茶なことは言えないです。どうですか、今、いろいろと赤で添削</p>

	<p>いれていただいておりますが、新クリーンセンターという言葉、これはまずかったですかね？ 新規の施設だから新だと思いましたが、少しずつ潰していただければ。奈良市クリーンセンター、移転建設という言葉は、私、ここ奈良市で初めて聞いた言葉で覚えて使っていますが、建設候補地、どうですか。新クリーンセンター、新はないほうがいいでしょうか。奈良市の方で、こちらがいいですね。次ですが、移転建設の予定地という言葉よりも、建設候補地のほうが通りがいいと思うのと…。特によろしいですか？ では、これははい、赤字の方で。2地点を選定し挙げ、これは、この意味にあまり違いはございませんので、赤字のまま、選定・報告でいいと思います。それから下にいきまして、昭和時代からのごみを巡るで。これはごみを巡るというのは、少し曖昧なので、処理というので。いいですか？これは。処理というと、収集・運搬とか処分とか全部をいれているのかという、僕たちは仕事柄、そういうふうと思うので、ごみをというふうに、短く書いてしまうんですが、ごみ処理というのは、言葉で全体を表していると思われるのであれば、この赤字の方でいこうと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>次ですが、候補地周辺の住民からの批判というところですが、ここいかがでしょうか？ 赤字のままにしますと、奈良市に対して批判的な発言をしているのは、候補地周辺の住民だけであるというような印象を受けますので、私、できればここは、自分が書いた市民というような、ちょっとボーっとした言い方にしたいんですが、どうでしょうか。</p>
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● これはそれでいいと思います。現実には、奈良市の東部地区の人間以外の方も、便利な地区のほうがいと、発言される方がかなりおられます。そういう観点から言いますと、奈良市のごみ行政そのものですから、ここは候補地周辺の住民に絞る必要なく、市民からのでいいと思います。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● よろしいですか？ ここは市民からというのを復活させます。 <p>それから、協力したいです。ではなく、協力します。ですが、これはこの委員会の設置の目的ですとか、そういったものに協力しますと書いてしまっても、これよろしいですか？ ではそうしますね。で、つながると思うのですと。つながると思います。これは赤文字の方が一般的だと思います。最後、東部地区自治連合協議会、これは正式名称で、これで、こちらがいいですね。こちらでお願いします。それから、同意しているわけではないことは承知しています。これも、はをつけるべきだと思います。後、あの森住委員からご指摘のあった、最後、野外ではなく、具体的な調査の打ち合わせをしながらの世間話とします。</p> <p>では、早速これ、文章をまとめまして、日付はできたら7月に入ったらすぐに持っていきたいと思います。一任いただければ、これはすぐに市長にお渡しできると思います。事務局にも、事前に入れていただいておりますので、速やかに次の手続きに入りたいと思います。よろしいですか？</p> <p>あと今日は、これで一通り用意した分は終わりです。他、何かありますか？</p> <p>事務局から何かありますか？ 特に何もなかったら、次の日程の話をしてい</p>

事務局(美馬)	<p>すが。よろしいですか？ 事前調査に関わることなどは、全て、短い期間に報告できるものでもないので、他に道路問題とか、地元還元施設とか、そういったことも関係しますので、公開で何度も何度も集まって、会議を開くのは、ちょっと難しい状況になっていますので、少し公開の頻度を下げて、作業部会的なもので集まるというのを、これから増やしていかないと難しいと思っていますが、皆さん、よろしいでしょうか。地元といいますか、例えば東部地区、あるいは左京地区から、こんな話がありましたというので、あまり生々しい事は公開の場で言えないものですから、それをお認めいただきたいと思っていますところですが、</p> <p>次回ですが、8月23日を私からはお願いしたいのですが、よろしいでしょうか？</p> <p>次回は、8月23日ということで、よろしくお願ひします。</p> <p>● 委員の皆さんには、ありがとうございました。なお、次回の策定委員会開催は、8月23日木曜日です。よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、閉会させていただきます。ありがとうございました。</p>
---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------